

## FRIENDS Live 2025 NEWS 第3弾

2025年 FRIENDS Live と日本心血管画像動態学会を共同開催する運びとなりました。

### ～Next Chapter: Imaging × Physiology が生み出す新たな世界～

多くのチャレンジをすることにより、新たな化学反応を起こし、まだ見ぬ世界を想像・創造する。このスピリットを次の世代につないでゆく、シン・FRIENDS Live、応援よろしくお祈りします。



The poster features a red and blue color scheme with a central image of a human heart and a globe. Text includes: 'Next Chapter Imaging × Physiology が生み出す新たな世界', '2025 1.17 FRI ▶ 18 SAT', '第35回 日本心血管画像動態学会', 'FRIENDS Live 2025', '演題募集期間 2024 8.1 THU ▶ 9.30 MON', and '開催' (Opening) written vertically. Contact information for the organizing company is provided at the bottom left.

#### Special Guest 決定！

ORBITA 試験 (Lancet2018)、ORBITA II 試験(NEJM2023)の **Rasha Al-Lamee** 先生  
PREVENT 研究(Lancet2024)の **Jung-Min Ahn** 先生  
RENOVATE-COMPLEX-PCI 研究(NEJM2023)の **Joo Myung Lee** 先生

#### PREVENT 研究 (Lancet 2024; 403: 1753-1765)

軽度狭窄（非有意病変）からも ACS が発症しうることは良く知られているが、PCI にその予防効果があるか検討した。FFR 陰性で、IVUS、OCT、NIRS により不安定プラークと判断された 1606 例を、PCI 群、OMT 群にランダム割り付けし、2 年間観察された。主要エンドポイントは、心臓死、target vessel MI、虚血による TVR、症状不安定化による入院である。主要エンドポイントは PCI 群で有意に少なかったが（0.4% vs. 3.4%）、死亡（0.5% vs 1.3%）、心筋梗塞（1.1% vs 1.7%）には有意差は無かった。この結果からは、Preventive PCI の可能性は期待されるが、ハードイベント予測手法に関しては更なる検討が必要と思われた。今後の研究の方向性についてはぜひ Ahn 先生から直接伺いたいところである。

当日の講演を乞うご期待！！

## **プログラム先取り！**

冠循環・冠動脈イメージングを理解するための基礎から、最新の話題・エビデンスまで多くのセッションを予定しております。その一部をご紹介します。

Advance セミナー INOCA の最先端

1. Endotypes 別治療方針決定のための IDP
2. 難治性 MVS の治療
3. 心不全と CMD：その診断から治療まで
4. 特殊な心疾患、structural CMD：その診断から治療まで

FRIENDS Live 2025 / 第 35 回日本心血管画像動態学会 では、一般演題を募集しております。ぜひ奮ってご応募してください。